

法科大学院と新司法試験の関係について(メモ)

早稲田大学 鎌田 薫

1. 法科大学院の理念

2. 法科大学院を取り巻く状況の変化

(1) 法科大学院進学希望者の減少

※別表「適性試験受験者数の推移」・「年度別受験者数の変化」参照

(2) 受験対策強化の傾向

3. 改善の方向性

(1) 法科大学院側の対応

(ア) 学生定員の削減

(イ) 教育内容の改善

(ウ) 厳格な進級判定・修了認定

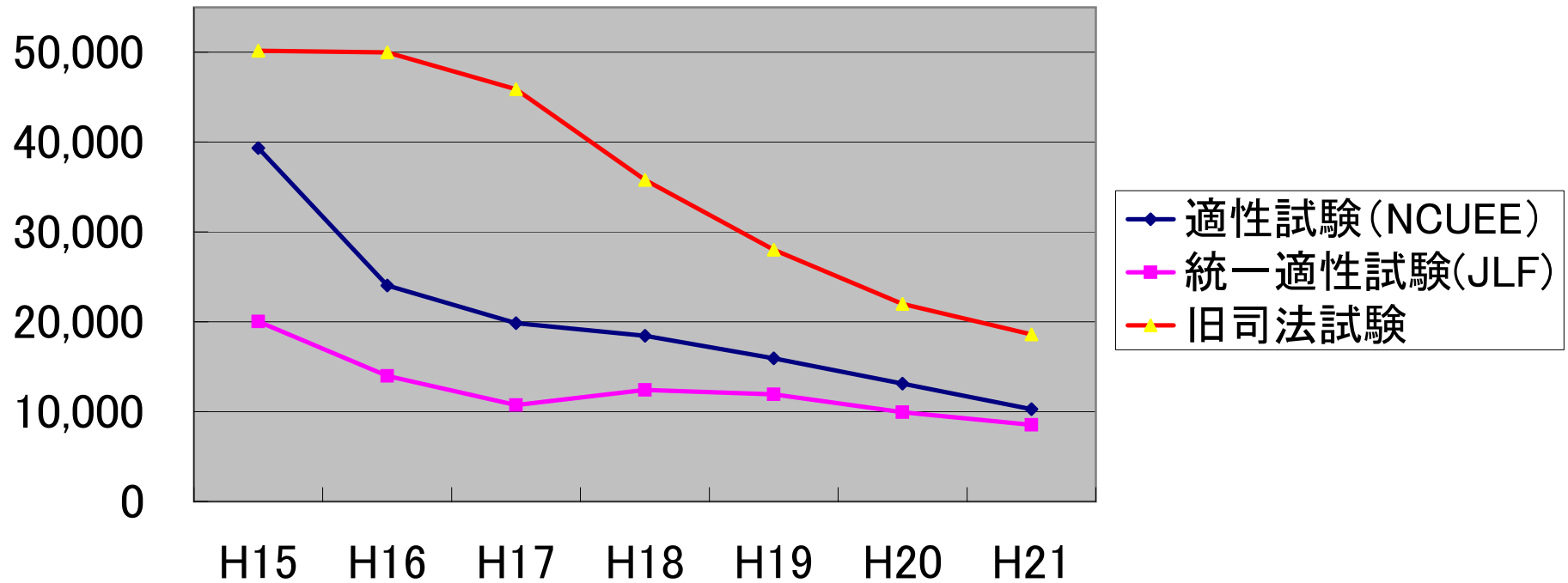
(2) 新司法試験側に期待される対応

(ア) 選抜の視点の確立

(イ) 教育的効果の意識化

4. 残された課題

適性試験志願者数の推移(付:旧司法試験志願者数)



(単位:人)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
適性試験 (NCUEE*)	39,350 ^{***}	24,036	19,859	18,450	15,937	13,138	10,282
統一適性試験 (JLF**)	20,043	13,993	10,725	12,433	11,945	9,930	8,547
旧司法試験	50,166	49,991	45,885	35,782	28,016	21,994	18,611

* NCUEE = 独立行政法人 大学入試センター

** JLF = 財団法人 日弁連法務研究財団

*** H15大学入試センターの志願者数は、本試験出願者数(31,301)と追試験出願者数(8,049)を合計した数

図 年度別受験者数の変化

『第7回法科大学院統一適性試験実施報告書 2010』（適性試験委員会事務局）11P より

